

ムクドリが好むねぐら環境の調査

NPO法人バードリサーチ

ヒトとムクドリの共存を目指して

ムクドリのねぐら問題

全国鳥類繁殖分布調査によって、都市部ではムクドリの個体数が増加していることがわかりました。都市部で増えたムクドリは、1980年代ごろから都市部の駅前などに集団ねぐらを形成するようになりました。ムクドリの大群が落とすフンや発する声は人々に嫌われて、ムクドリを追い払う様々な試みが行われています。しかし、ある場所でムクドリ対策をして追い払いに成功しても、近くの別の場所に新しくねぐらを形成したり、時間を置くとまた戻ってきたりして、根本的な解決には至っていません。



ムクドリはどんなねぐら環境を好む？

ムクドリの集団ねぐらは、ある駅の西口の街路樹にはあるのに東口の街路樹にはないとか、この駅前にはあるけど隣の駅にはないなど特定の場所を選好し局所的な分布をしています。ムクドリの集団ねぐらが形成される局所的な環境要因についてはまだよくわかりません。この調査では、バードリサーチ会員などのみなさまから多くのねぐら箇所を集め、データベースから得た周辺環境を解析しようと考えています。また、データベース等からは得られない細かい環境指標も計測して解析する予定です。



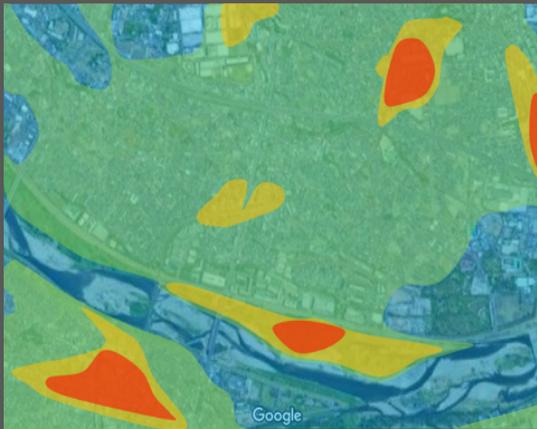
ねぐら環境：落葉樹、常緑樹、ヨシ原、電線、建物の凹部、看板裏など

ねぐら環境調査

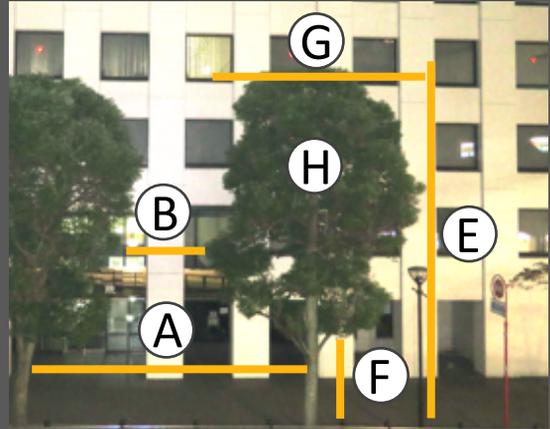
ムクドリは、夏から秋にかけてはヨシ原や落葉樹に作られることが多く、冬になると建物や常緑樹などにねぐらをとるようになります。2020年秋から全国の皆さまと集めているねぐらの位置情報と2021年の繁殖期の終わり頃から2022年冬にかけて再び集めるねぐらの位置情報をもとに、周辺の環境をデータベースなどから抽出し、生息適地モデルを応用してねぐらとして好まれる大まかな環境要因を明らかにします。情報提供をお願いします！

ねぐら情報送信：http://www.bird-research.jp/1_katsudo/mukudoriNegura/negura.html

また、特定のねぐらを対象により詳細なねぐら環境を調査し、局所的なスケールでのねぐら場所の選好性を明らかにします。



▶ ねぐら場所モデルから作った選好される場所のイメージ図



▶ 局所的なスケールでのねぐら場所の記録と環境測定

長期的に目指す成果

ヒトとの軋轢を生みやすい場所で行われるムクドリ対策と並行して、ヒトが困らない場所に新しいねぐらを誘致できればと考えています。

ご支援の使途

環境計測に必要な各計測機器、解析ソフト、交通費、広報などに充てる予定です。ご支援をよろしくおねがいします！